因島業界動向

平成２８年１月～３月

因島商工会議所

１．　【トピックス】

◆因島商工会議所関連◆

～新年互礼会開催～

１月８日１８時００分よりポートピアはぶにて、新年互礼会を開催しました。村上会頭が年頭のあいさつで、特区制度、地方創生、日本遺産への取り組み等、新しいまちづくり元年としての抱負が語られました。続いて来賓祝辞として、平谷祐宏尾道市長から、村上海賊の日本遺産認定への意気込みと広島県・今治市の国家戦略特区指定に合わせて「せとうち海の道」として新しいイノベーションを興し、地域の活性化、雇用の創出等、地方創生・活性化のために確かな情報を掴み、戦略を組んで挑戦をしていきたいと挨拶が行われました。

乾杯は松浦幸男広島県議会議員が行われ、「しまのわ」の縮小版のイベントの開催と、県の後継者育成補助事業について語られました。

出席者は官公署・諸団体から４０名、会議所議員・参与から４９名、会員企業・事務局から３３名の合計１２２名が出席し、新年の門出を祝いました。

◆企業合同求人説明会◆

３月２２日に県立びんご運動公園健康スポーツセンターメインアリーナにおいて、尾道地域企業合同求人説明会を開催しました。将来の尾道を担う来春卒業予定の大学生や専門学生、更には既卒者、一般求職者と尾道市内の事業者が出会うチャンスの場として開催されました。求職者の参加人数は１８０人で、県東部の製造業や社会福祉法人など１０６社がブースを構えました。会場では、就活応援セミナーも実施されました。尾道地域企業合同説明会は、春と夏に、Ｕ・Ｉ・Ｊターン就職など当地域への就職促進を積極的に図るため、様々な工夫をしています。

◆第２３期第４回通常議員総会にて事業計画（案）・予算（案）を承認◆

３月２５日（金）午後５時３０分から議員４５名（委任状１３名）の出席のもと、ホテルいんのしまで開催しました。村上会頭が議長となって議案の審議に入り、慎重審議の結果、下記の（１）～（３）議案が原案通り承認されました。

（１）平成２８年度因島商工会議所事業計画(案)及び収支予算(案)について

（２）平成２８年度因島中小企業相談所収支予算(案)について

（３）平成２８年度その他特別会計収支予算(案)について

～基本方針～

国際情勢としては、今、まだ続く中東のＩＳ（イスラム国）問題、シリア難民の受け入れ、北朝鮮の核実験・長距離弾道ミサイル発射等問題が山積しており、経済面においても中国経済の減速、並びに原油安の影響による為替・株の乱高下等予断を許さない状況です。

国内情勢としては、今尚低迷している原油価格は輸入依存度の高いわが国の産業にとってはプラス面が

大きく、今を好機として今後に繋げて欲しいと思います。景気刺激策として日本銀行が史上初のマイナス金利を導入しましたが、世界経済の悪化の影響もあり好況感は沸かず、デフレからの脱却も厳しい情勢です。引き続き、アベノミクス第２弾であるＧＤＰ６００兆円・子育て支援・社会保障等の実施による景気の好循環を期待したいと思います。

当因島地区としては、少子高齢化、消費・若者の島外流出等経営環境は以前にも増して厳しい状況にあります。

基幹産業である造船は危機を脱し受注は落ち着きを見せてはいますが、深刻な労働力不足と技術の伝承の危機を抱えています。当所としましては、企業合同説明会開催、造船業のイメージアップ戦略等により求人活動を積極的に支援し労働力確保を目指します。

商業・観光面では、「村上海賊」としての日本遺産認定の結果待ちですが、認定を受けられれば広域観光・サイクリング・ウォーキング並びに昨年度作成した、いんのしまグルメマップの効果と併せ、大幅な交流人口の増加が見込まれ、消費の取り込み拡大に向けた受け入れ体制づくりに取り組んで行きます。

昨年は、ご当地イメージキャラクター「はっさくん」が2015全国ゆるキャラグランプリにて２年連続県内１位に輝きましたが、本年度は関連商品の開発等さらに経済波及効果を発揮するよう活動して行きます。

地方創生事業を始め本年度事業におきましては、新たに尾道市長・副市長と当所三役による定期的な懇談会をスタートし、一層の連携強化を図りながら一致協力して諸問題への対応と事業実施に向けて行動して行きます。

◆内海造船関連◆

～進水式・完工～

内海造船瀬戸田工場では、１月２１日に石油精製品を運搬するプロダクトタンカー「キラナ　サプタ」が完工しました。全長１６０メートル、幅２７．９０メートル、深さ１１．２０メートル、航海速力１３．５ノット船籍シンガポール。

２月１０日には、乾貨物船マウントパークが進水しました。全長１８３メートル、幅３０．６０メートル、深さ１４．５メートル、総トン数2万3，９００トン　載貨重量3万7，５１０トン、最大搭載人員２５人、航海速力約１４ノット、船籍はパナマで、４月下旬に完工予定。

２月２４日には、６３０台積自動車運搬船「第三東洋丸」が完工しました。全長１２５メートル、幅２０．６０メートル、深さ１４．３６メートル、総トン数3，９９０トン　載貨重量2，８８８トン、最大搭載人員１４人、航海速力約１８ノット

◆一般関連◆

～第７回本因坊秀策囲碁記念館子ども囲碁大会開催～

１月９日本因坊秀策囲碁記念館にて、本因坊秀策囲碁記念館子ども囲碁大会を開催しました。尾道市、広島市、江田島市などから、小中高の２６人が参加し、熱戦を繰り広げました。

～万田もちつき祭開催～

１月１７日に万田もちつき祭が万田発酵㈱の敷地内で行われ、約3，６００人が訪れた。餅の振る舞いには行列ができ、ステージでは全員が赤いたすきをして、袴姿の２人と６人が部のＴシャツを着ている因島高校書道部員８人による書道パフォーマンスがあり、来場者で賑わいました。

～ＪＡ尾道市因島フェスティバル開催～

１月１７日に因島営農センターで行われ、約4，０００人が訪れた。農産物品評会では、東生口の吉井明雄さんの紅八朔が尾道市長賞に選ばれました。出品総数は柑橘と野菜３５０点、入賞３９人。

～囲碁女流秀策杯開催～

第６８回本因坊秀策囲碁まつりの一環である第5回女流秀策杯が１月３０・３１日、市民センターむかいしまで行われ、女流秀策杯では、女流プロ棋士８人と、前日の予選を勝ち抜いた女流アマ８人によるトーナメント戦で、盤上で熱戦を繰り広げました。日本棋院の加藤啓子六段が優勝し、５０万円を獲得した。準優勝は金子真季初段で決勝は中押しの決着となった。

～因島技術センターで配管艤装研修～

因島技術センターは2月２日～５日、配管艤装の初級専門技能研修が行われ、全国から４社、６人が受講した。入校式では配管技術の重要性について、目立たないが船舶の良し悪しが配管で決まると言われていると強調された。

～第１１回「全国ジャンボ大根フェスティバル２０１５」開催～

大根の重さを競う第１１回「全国ジャンボ大根フェスティバル２０１５」が3月８日に万田発酵であり、約3，３００人でにぎわった。大根の重さを競うコンテストに加え、重さ当てクイズや豚汁の振る舞いを楽しんだ。

～空母型フェリー、国産第１号が就航　建造費は1億２６００万円～

操舵室や客室を片舷に寄せることで、車両を積載する甲板を露天にした「空母型」の小型フェリーを、因島三庄町の「石田造船」が建造し２２日、同社で進水式が行われました。左右非対称となる同様の構造を持った旅客船の建造は国内初といいます。市営渡船の細島ー因島・西浜航路に4月上旬から就航します。

細島ー西浜間の約2・7キロを片道１５分で結ぶ同航路は昭和３３年の開設。就航する通船は初代が「こまたき丸」、2代目以降は代々「こまたき」と名づけられた。3代目からフェリーになり、今の4代目は平日と土曜に１日9往復、日曜・祝日に5往復運航しています。新船は、プロポーザル方式で同社の設計が採用されました。

完成した5代目は総トン数１９トン、全長２８・２メートル、最大幅７・５８メートル、航海速力約7ノットで、建造費1億２６００万円。前後どちらに向かっても航行できる両頭船で、車両などが乗降するランプドアは船首と船尾の両方に設けられています。船長と甲板員各１人の乗組員２人で運航され、乗客定員４２人、車両は普通車なら6台、４トントラックなら2台を積載できます。

同社によると、総トン数２０トン未満の旅客船は、より大型の船に比べて、乗組員数や定期検査の回数が格段に少なくて済み、運航経費が大幅に節約できます。一方で、船の容積に厳しい基準があるため、車両積載部分に天井がある従来の構造では、甲板から天井までの高さが制限され、かさばる荷物を積んだトラックやコンクリートミキサー車などを載せることが困難でした。

「空母型」の採用は、このジレンマを解消するためで、国内初の試みだけにマストや航海灯の設置方法など、クリアしなければならない課題も多かったといいます。

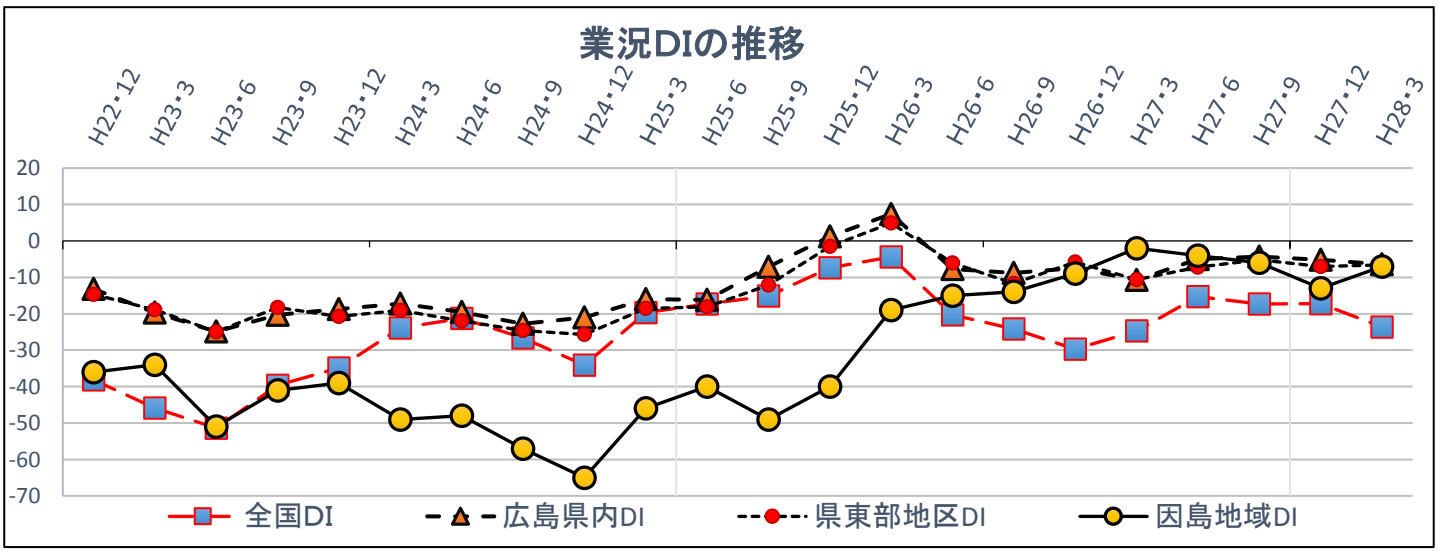
また、バリアフリートイレや車いす用のスペース、点字ブロックなども設けられました。船体には「光と海と島と柑橘」をイメージした白と青と緑の地に黄色い水玉が配された塗装が施されています。同市の百島で芸術活動を続けている「ＡＲＴ　ＢＡＳＥ　MOMOＳＨＩMA広島アートプロジェクト実行委員会」がデザインしました。

2　　【総括的概況】

因島地域の景況は６ポイント上昇し、前回調査から比較的上向きと見える。造船業界の景況は前回調査比較でほぼ横ばい、さらに飲食業やホテル業は原材料価格や燃料費などの下落の恩恵もみられず、横ばい状態であった。その他の製造業や建設、卸売、小売業の景況ポイントは微増であったため、地域全体では上昇傾向となった。今回は４８件から回答があり、回答の構成は製造業が35.4%、建設業が12.5%、卸売業が16.7%、小売業が10.4%、サービス業が25.0%であった。

※H25・6月期より天気図を景況ＤＩにより　５段階に分類。		晴れ（景況DI100～61）	薄日（景況DI60～21）	薄曇り（景況DI20～▲20）	曇り（景況DI▲21～▲60）	雨（景況DI▲61～▲100）
製造業	前期		機械、造船、修繕船		食料品	
	今期		造船、修繕船	食料品、機械		
卸売業	前期			食料品、文具、事務機、飲料		
	今期			食料品、文具、事務機、飲料		
小売業	前期			一般、生協	大型店	スーパー
	今期			大型店、スーパー、一般、生協		
建設業	前期			土木、建設、電気工事		
	今期			土木、建設、電気工事		
サービス業	前期			飲食、ガス等、運輸	ホテル	
	今期			ホテル、飲食	ガス等、運輸	

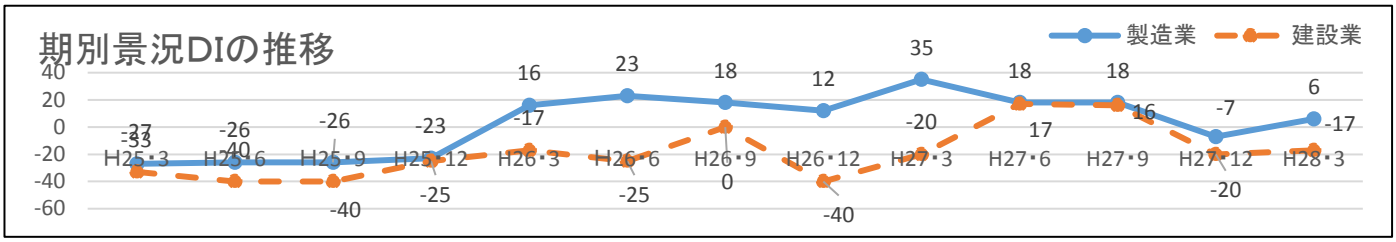
※ＤＩ：ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向（良い）の回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向（悪い）の回答割合が多いことを示す。



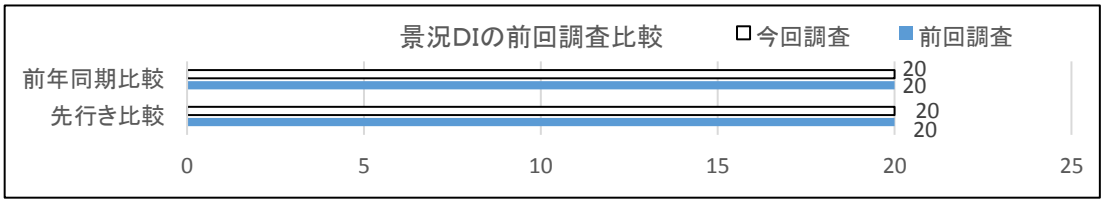
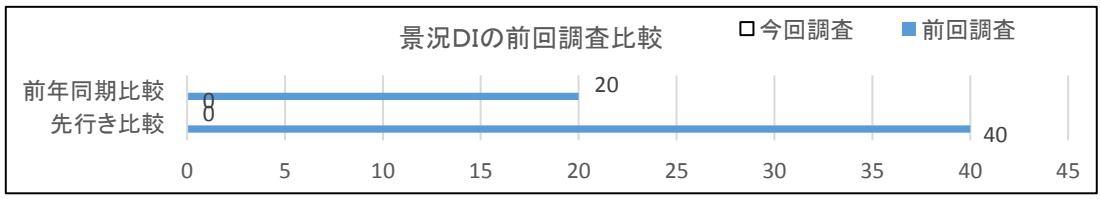
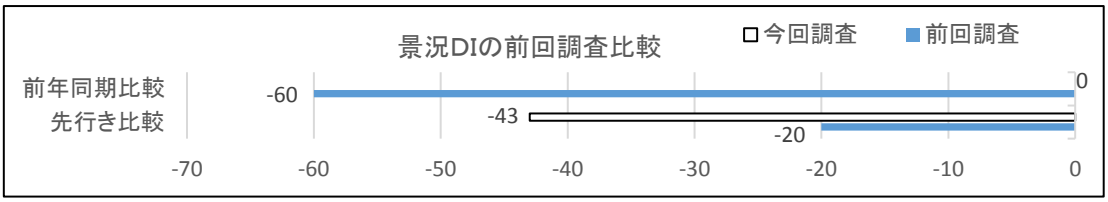
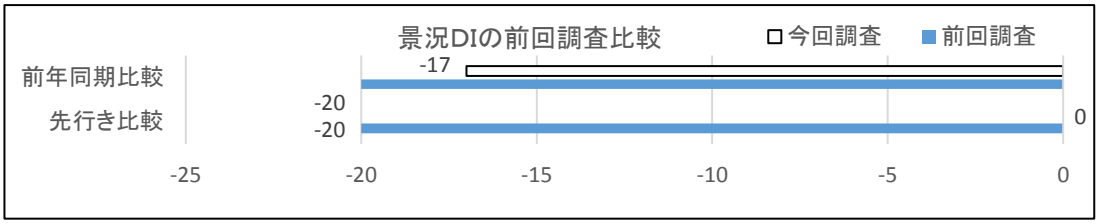
3.　　【業界別の動向】

〔製造業・建設業〕

概　況　　前回１２月調査からは、製造業･建設業ともに足元の受注は鈍いがやや上昇した。



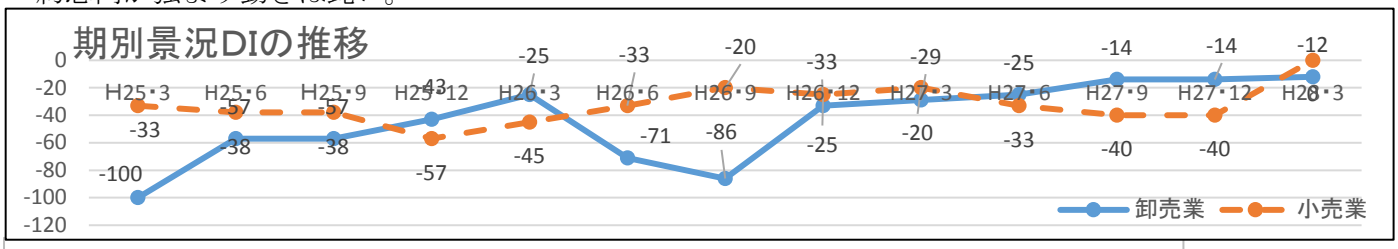
※業界別の前年同月比較の景況ＤＩを表しています。

船舶造修	今期は２隻の受注があったものの景況ＤＩの増減はなかった。この先の新造の受注見込みは減少傾向。物流業界や国際条約等の外部環境が変化すれば修繕と共に増加も見込めるが、平成２３年頃の新造船が老朽化するまでは、修繕事業が主となったいくと見込んでいる。 	薄日
機械金属	昨年同期比の景況DIは前回１２月調査から２０ポイント下降した。しかしながら、原材料価格の下落や人材不足の解消の好転要素もあった。 	薄曇り
食料品製造業等	前回１２月調査から６０ポイント上昇した。材料価格の高騰と人材不足がややわらいだためである。来期は不透明である。 	薄曇り
建設業	昨年同期比の景況DIは３ポイント上上昇した。依然、従業員は不足しており、受注量も落ちてきている。来期も不透明感は強い。 	薄曇り

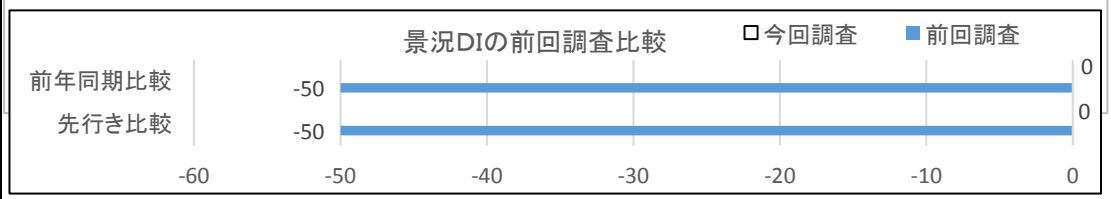
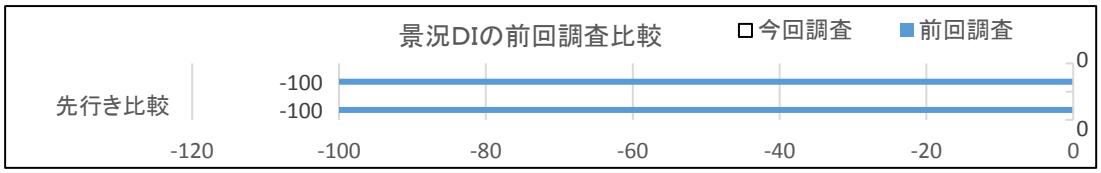
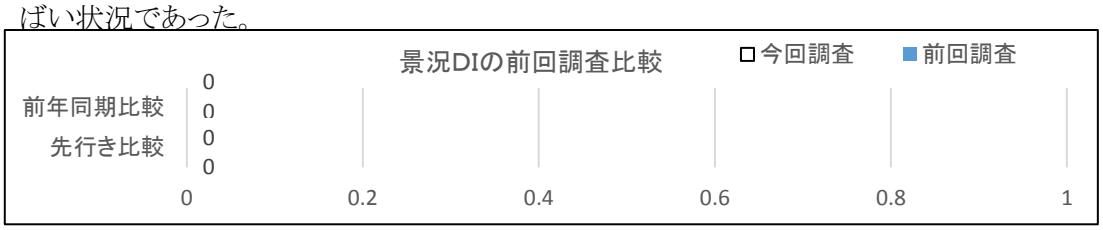
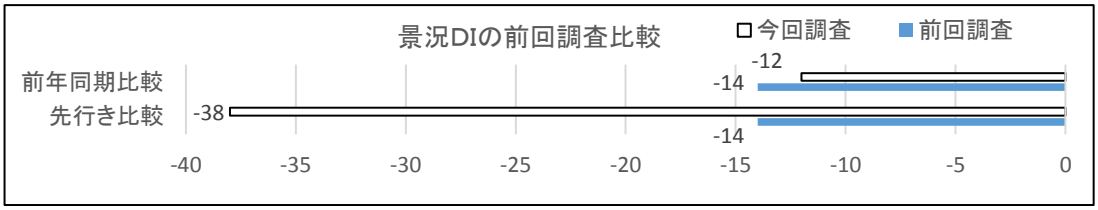
※前年同月は平成２８年３月期で、先行きは平成２８年４月～６月期を示す。

〔卸売業・小売業〕

概　況　　前回１２月調査から、卸売業、小売業ともに緩やかに上昇した。消費の二極化が進む中、節約志向が強まり動きは鈍い。



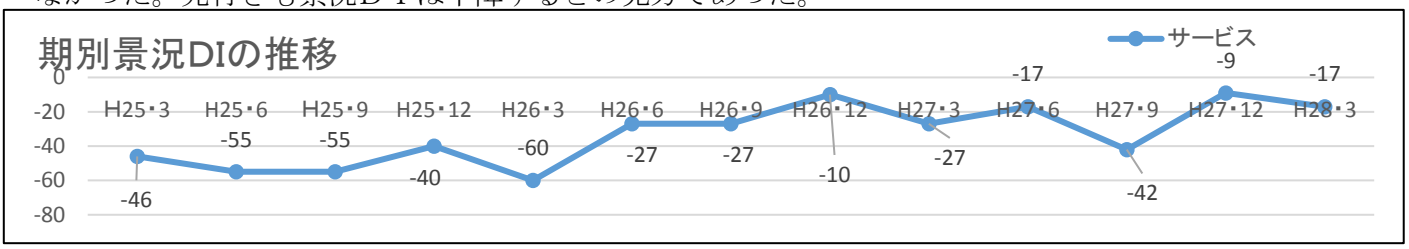
※業界別の前年同月比較の景況ＤＩを表しています。

大型店	今期は前回調査で「悪化」の回答から「横ばい」へ変化は見られたが、横ばいで推移し、来期も変化はない見込み。 	薄曇り
生協	今期は計画していたとおりの実績が出て、昨年同期比で横ばいとなった。移動販売についても定着してきており、売上げを前年比で見ても上昇している。来期も前年並みの動向と見ているが、特にゴールデンウィークの子供の日の特需に期待している。	薄曇り
スーパー	今期は前回調査で「悪化」の回答から「横ばい」へ変化は見られたが、横ばい 	薄曇り
一般小売	節約志向が強く、暖冬の影響もあり旬の生鮮品が高騰したことと重なり、前回調査から横ばい状況であった。 	薄曇り
卸売関係	景況は前回１２月調査から横ばいで推移した。仕入価格、卸値共に上昇、良し悪しなく来期も横ばいの見込み。 	薄曇り

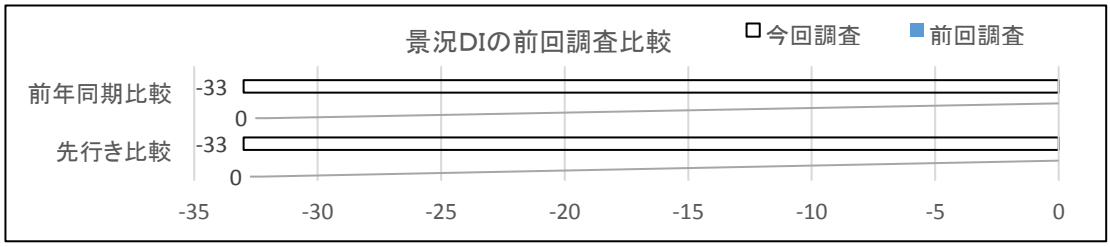
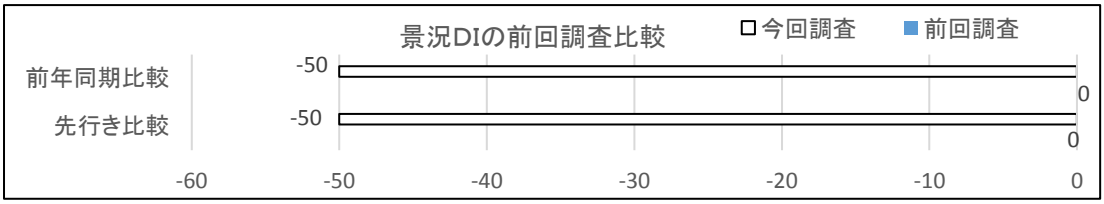
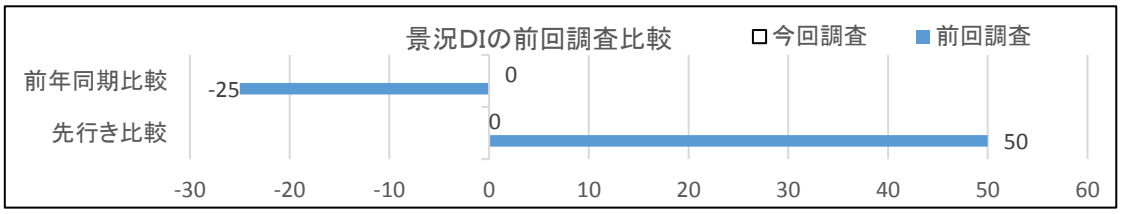
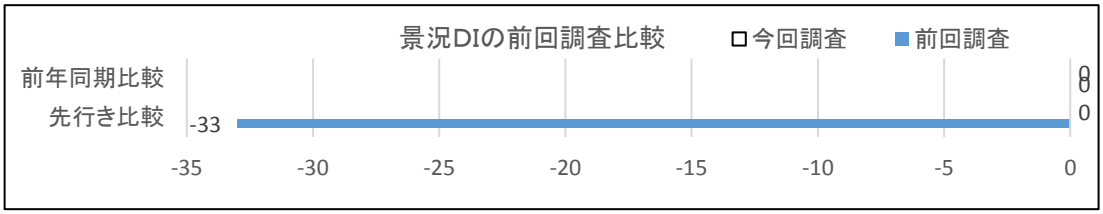
※前年同月は平成２８年３月期で、先行きは平成２８年４月～６月期を示す。

〔運輸業・サービス業・その他〕

概　況　　前回１２月調査から８ポイント下降した。観光需要の下支えや燃料費の下落の恩恵も見られなかった。先行きも景況ＤＩは下降するとの見方であった。



※業界別の前年同月比較の景況ＤＩを表しています。

ガス及びその他のサービス業	今期は暖冬の影響で前年同期比では販売量は減少し、供給個数も年間約２％のペースで減少している。原料価格の下落が販売価格に影響しており、売上げを下げている。暖房（ストーブ・ヒーター）に特化した専用料金サービスを開始する２８年度の冬季は売上げ増加を期待している。（ガス関連） 景況ＤＩは前回１２月調査から３３ポイント下降した。「良い」から「横ば 	曇り
運輸関係	対前年同月比は前回調査の０ポイントからマイナス５０ポイント下降した。「良い」という回答はなく、来期も横ばいで推移する見込み。 	曇り
ホテル	対前年同月比は前回１２月調査のマイナス２５ポイントから２５ポイント回復した。来期は観光シーズンになり上昇する期待はある。 	薄曇り
飲食業	景況ＤＩは前回と今回ともに０ポイントで横ばい。未だ人材不足は解消されず、予約を受けるのが困難な状況もある。今期は来客数と販売価格のバランスがやや良くなった要素もあるものの先行きは不透明である。 	薄曇り

※前年同月は平成２８年３月期で、先行きは平成２８年４月～６月期を示す。

4. 【在因島金融機関取扱い（残高）状況】

（単位：百万円、％）

項目 / 年月		残高合計 預金	前年同月比	貸出金	前年同月比	預貸率	前年同月差
２６年度末		119,760	99.6%	38,413	116.3%	32.1%	4.6
27年度	第１／四期末	122,933	101.9%	39,510	122.4%	32.1%	5.3
	第２／四期末	122,512	100.6%	42,209	121.1%	34.5%	5.9
	第３／四期末	122,542	96.5%	43,022	117.9%	35.1%	6.4
	第４／四期末	123,726	103.3%	44,712	116.4%	36.1%	4.0

地方銀行２行、信用組合１行、計３行の合計。

5. 【企業倒産状況】（負債総額１，０００万円以上）

（単位：件、百万円）

項目 / 年月		倒産件数 件数	前年比(%)	負債総額 金額	前年比(%)	備考
２６年度		1	0.0	50	0.0	年度計
27年度	第１／四期末	0	0.0	0	0.0	期計
	第２／四期末	0	0.0	0	0.0	〃
	第３／四期末	0	0.0	0	0.0	〃
	第４／四期末	0	0.0	0	0.0	〃
	合計	0	0.0	0	0.0	

（㈱東京商工リサーチ広島支社調）

6. 【月間有効求人数・月間求職者数・求人倍率】

（単位：人、倍）

項目 / 年月		有効求人数 人数	前年比(%)	有効求職者数 人数	前年比(%)	有効求人倍率 倍率	前年	備考
２６年度		3,099	117.7%	2,550	90.3%	1.22	0.93	
27年度	第１／四期末	3,283	111.7%	2,702	96.2%	1.22	1.05	
	第２／四期末	3,331	114.9%	2,464	96.1%	1.35	1.13	
	第３／四期末	3,406	107.7%	2,255	92.7%	1.51	1.13	
	第４／四期末	3,469	102.2%	2,260	94.3%	1.54	1.42	
	２７年度平均	3,373	108.8%	2,420	94.9%	1.39	1.22	

注：新規学卒者を除き、パートを含む。月平均は四捨五入。　（尾道公共職業安定所調）

7.　【経営改善資金推薦状況】

（単位：件、万）

項目 / 年月		推薦						決定		
		件数	前年比(%)	金額	前年比(%)	運転	設備	件数	金額	前年比(%)
２６年度		29	50.9	30,760	57.7	26,410	4,350	29	30,760	59.0
27年度	第１／四期末	7	100.0	6,300	67.0	4,890	1,410	7	6,300	67.0
	第２／四期末	8	72.7	6,250	59.1	3,260	2,990	7	4,250	40.2
	第３／四期末	15	250.0	15,720	262.9	11,585	4,135	15	15,720	262.9
	第４／四期末	5	100.0	5,940	123.8	2,710	3,230	5	5,940	123.8
	合　計	35	120.7	34,210	111.2	22,445	11,765	34	32,210	104.7

（因島商工会議所調）

8.　【因島商工会議所会員数】

区　分	12月31日現在 会　員　数	新規会員数	脱退者数	３月３１日現在 会　員　数
法　人	495	0	2	493
個　人	529	5	12	522
合　計	1,024	5	14	1,015
２７年度累計	1,024	30	39	1,015

9.　【Eメールサービス･因島水軍ふるさと商品券】

◆「因島商工会議所Ｅメールサービス」　　現在１１０件配信。

月１回講演会・研修会等の開催情報や国の施策など情報をお伝えする「因島商工会議所Ｅメールサービス」を行っています。

※　Ｅメールサービスの配信をご希望の方は当所までご連絡下さい。

◆「因島水軍ふるさと商品券」加盟店舗数　　現在１０９店

当所ホームページ内でもご紹介しております。

※因島商工会議所の会員であり、小売業、飲食業・宿泊業、生活関連において消費者に直接、販売又はサービス、建築（新増築を除くリフォームなど）を行う事業所の方のご応募をお待ちしております。ご希望の方は、当所へご連絡下さい。